

## テリボン皮下注 28.2 $\mu$ g オートインジェクター

### 【この薬は？】

販売名	テリボン皮下注 28.2 $\mu$ g オートインジェクター Teribone Injection
一般名	テリパラチド酢酸塩 Teriparatide Acetate
含有量 (1 オートインジェク ター中)	テリパラチド酢酸塩30.3 $\mu$ g (テリパラチドとして 28.2 $\mu$ g)

### 患者向医薬品ガイドについて

**患者向医薬品ガイド**は、患者の皆様や家族の方などに、医療用医薬品の正しい理解と、重大な副作用の早期発見などに役立てていただくために作成したものです。

したがって、この医薬品を使用するときに特に知っていただきたいことを、医療関係者向けに作成されている添付文書を基に、わかりやすく記載しています。

医薬品の使用による重大な副作用と考えられる場合には、ただちに医師または薬剤師に相談してください。

ご不明な点などありましたら、末尾に記載の「お問い合わせ先」にお尋ねください。

さらに詳しい情報として、PMDA ホームページ「医薬品に関する情報」<https://www.pmda.go.jp/safety/info-services/drugs/0001.html> に添付文書情報が掲載されています。

### 【この薬の効果は？】

- ・ この薬は、骨粗しょう症治療剤と呼ばれるグループに属する注射薬です。
- ・ この薬は、骨を作る細胞の働きを高めて、骨の量を増やし、骨折の危険性を減らします。
- ・ 次の病気の人に処方されます。

#### **骨折の危険性の高い骨粗しょう症**

- ・ 閉経前の骨粗しょう症の人での安全性および有効性は確立していません。
- ・ この薬は、医療機関において、適切な在宅自己注射教育を受けた患者さんまたは家族の方は、自己注射できます。自己判断で使用を中止したり、量を加減したりせず、医師の指示に従ってください。

## 【この薬を使う前に、確認すべきことは？】

○次の人は、この薬を使用することはできません。

- ・ 次に掲げる骨肉腫発生のリスクが高いと考えられる人
  - ・ 骨ページェット病の人
  - ・ 原因不明のアルカリフォスファターゼ値が高い人
  - ・ 小児等および若年者で骨端線が閉じていない人
  - ・ 過去に骨への影響が考えられる放射線治療を受けたことがある人
- ・ 高カルシウム血症の人
- ・ 原発性の悪性骨腫瘍もしくは転移性骨腫瘍の人
- ・ 骨粗しょう症以外の代謝性骨疾患（副甲状腺機能亢進症など）の人
- ・ 過去にテリボン皮下注 28.2  $\mu$ g オートインジェクターに含まれる成分または他のテリパラチド製剤で過敏症を経験したことがある人
- ・ 妊婦または妊娠している可能性がある人

○次の人は、特に注意が必要です。使い始める前に医師または薬剤師に教えてください。

- ・ 低血圧の人
- ・ 心臓に障害がある人
- ・ 尿路結石がある人または過去に尿路結石があった人
- ・ 閉経前の骨粗しょう症の人
- ・ 腎臓に障害がある人
- ・ 肝臓に重篤な障害がある人
- ・ 妊娠する可能性のある人
- ・ 授乳中の人

○この薬には併用を注意すべき薬があります。他の薬を使用している場合や、新たに使用する場合は、必ず医師または薬剤師に相談してください。

○他のテリパラチド製剤またはアバロパラチド製剤を使用している人または過去に使用したことがある人は、医師に相談してください。

## 【この薬の使い方は？】

この薬は注射薬です。

### ●使用量および回数

使用量と使用回数は、あなたの症状などにあわせて、医師が決めます。

通常、成人では 28.2  $\mu$ g（オートインジェクター1本）を1日1回、週に2回（原則として3日間あるいは4日間間隔）、皮下に注射します。

投与の合計が24ヵ月（208回）をこえることはありません。24ヵ月（208回）の使用が終了した後に、再び24ヵ月（208回）の使用が繰り返されることもありません。

### ●どのように使用するか？

- ・ 皮下注射します。
- ・ 自己注射する場合には、必ず医師、薬剤師または看護師から自己注射の方法に関して指導を受けてください。また、使用方法については、必ず本剤の使用説明書「使い方ガイドブック」を参照してください。
- ・ 注射の前にはオートインジェクターを冷蔵庫から取り出して20分おき、室温に戻してください。

- ・ 使用直前まではこの薬のキャップを外さず、キャップを外したらすぐに使用してください。
- ・ 薬液がにごっていたり、色がついていたり、微粒子がある場合や容器が損傷している場合には使用しないでください。
- ・ このオートインジェクターは 1 回分の使いきりとなっています。1 回に全量を使用し、再使用しないでください。
- ・ 注射部位は、腹部、大腿部または上腕部です。同じ部位に繰り返し注射する場合は、前回の注射箇所から 2～3cm 離してください。
- ・ 皮膚が敏感な部分、皮膚に異常のある部分（傷、発疹、発赤、硬結（周りより固くなっている部分）など）には注射しないでください。

#### ●使用し忘れた場合の対応

- ・ 決して一度に 2 回分を注射しないでください。
- ・ 注射をし忘れた場合は、次の注射予定日の遅くとも前日までに注射してください。次の注射予定日を迎えた場合には、使用を忘れた分の注射はしないでください。

#### ●多く使用した時（過量投与時）の対応

立ちくらみ、めまい、動悸（どうき）、吐き気、嘔吐（おうと）などの症状が起こる可能性があります。これらの症状があらわれた場合は、使用を中止し、ただちに主治医に連絡してください。

### 【この薬の使用中に気をつけなければならないことは？】

- ・ この薬を自己注射で使用する場合には、注射方法やオートインジェクターの安全な廃棄方法などについて十分に理解できるまで説明を受けてください。
- ・ この薬を使った直後から数時間後にかけて、ショック、一過性の急激な血圧低下に伴う意識消失、けいれん、転倒があらわれることがあります。投与開始後数ヵ月以上を経て初めて発現することもあります。特に投与後 30 分程度はこれらに注意してください。血圧低下、めまい、立ちくらみ、動悸、気分不良、悪心（吐き気）、顔面蒼白（そうはく）、冷汗などがあらわれた場合には、症状がおさまるまで座るか横になってください。
- ・ めまいや立ちくらみ、意識消失などの症状があらわれることがあるので、高所での作業、自動車の運転など危険を伴う作業に従事する場合には注意してください。
- ・ この薬を使ってから一時的に、便秘、吐き気、嘔吐、腹痛、食欲減退などの血清カルシウム値の上昇が疑われる症状があらわれることがあります。これらの症状が翌日以降も続く場合には、主治医の診察を受けてください。
- ・ 血清カルシウム値の上昇でジギタリス製剤の作用が強くなることがあるため、ジギタリス製剤を使っている人は注意してください。
- ・ 心臓に障害がある人では、病状を観察しながら使用されます。
- ・ 腎臓に障害がある人では、定期的に腎機能検査が行われます。
- ・ 妊娠の可能性のある方がこの薬を使用する場合、この薬の使用期間中は避妊してください。また、この薬を使用している間に妊娠がわかった場合には、ただちに主治医に相談してください。
- ・ 妊婦または妊娠している可能性がある人はこの薬を使用することはできません。

- ・ 授乳している人は、医師に相談してください。
- ・ 他の医師を受診する場合や、薬局などで他の薬を購入する場合は、必ずこの薬を使用していることを医師または薬剤師に伝えてください。

## 副作用は？


特にご注意ください重大な副作用と、それぞれの主な自覚症状を記載しました。副作用であれば、それぞれの重大な副作用ごとに記載した主な自覚症状のうち、いくつかの症状が同じような時期にあらわれることが一般的です。このような場合には、ただちに医師または薬剤師に相談してください。

重大な副作用	主な自覚症状
アナフィラキシー	全身のかゆみ、じんま疹、喉のかゆみ、ふらつき、動悸、息苦しい
ショック	冷汗が出る、めまい、顔面蒼白（そうはく）、手足が冷たくなる、意識の消失
意識消失	意識の消失

以上の自覚症状を、副作用のあらわれる部位別に並び替えると次のとおりです。これらの症状に気づいたら、重大な副作用ごとの表をご覧ください。

部位	自覚症状
全身	冷汗が出る、ふらつき
頭部	めまい、意識の消失
顔面	顔面蒼白
口や喉	喉のかゆみ
胸部	動悸、息苦しい
皮膚	全身のかゆみ、じんま疹
手・足	手足が冷たくなる

## 【この薬の形は？】

販売名	テリボン皮下注 28.2 $\mu$ g オートインジェクター
性状	無色澄明の液
形状	

## 【この薬に含まれているのは？】

有効成分	テリパラチド酢酸塩
添加剤	D-マンニトール、塩化ナトリウム、 L-メチオニン、pH 調節剤

## 【その他】

### ●この薬の保管方法は？

- ・ 冷蔵庫に入れ、凍結を避けて 2～8℃で保管してください。光を避けてください。
- ・ 子供の手の届かないところに保管してください。

### ●薬が残ってしまったら？

- ・ 絶対に他の人に渡してはいけません。
- ・ 余った場合は、処分の方法について薬局や医療機関に相談してください。

### ●廃棄方法は？

- ・ 使用済みのオートインジェクターについては、医療機関の指示どおりに廃棄してください。

## 【この薬についてのお問い合わせ先は？】

- ・ 症状、使用方法、副作用などのより詳しい質問がある場合は、主治医や薬剤師にお尋ねください。
- ・ 一般的な事項に関する質問は下記へお問い合わせください。

製造販売会社：旭化成ファーマ株式会社

(<https://www.asahikasei-pharma.co.jp/>)

くすり相談窓口

電話：0120-114-936

受付時間：9：00～17：45（土日祝、休業日を除く）

- ・ オートインジェクターの使い方に関する質問は下記へお問い合わせください。  
テリボンダイヤル

電話：0120-249-478

受付時間：8：00～22：00